

総合特別区域の進捗に係る評価
[ライフ・イノベーション分野]

令和元年度

国際医療交流の拠点づくり 「りんくうタウン・泉佐野市域」地域
活性化総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(3.5+3)/2=3.3$

3.3

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	国際医療交流の推進	118%	4
2	訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進	79%	3

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 0 + 4 \times 1 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 3.5$

3.5

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3+2.3+2.6)/3=2.6$

2.6

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

2.6

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.0

- ・関空の玄関口という国際医療拠点として立地条件はよいが、目標達成には程遠い。スタートからかなりの年月が経過しているが、構想の抜本的な見直しが必要だと思われる。
- ・高度がん医療拠点の開院後4年経て、外国人患者数が進捗度39%であるのは、医療拠点が認知されていないか、認知されていても評価されていないと推測され、抜本的な改善策が求められていると考えられる。
- ・積極的な広報等により目標値には達しないものの外国人がん患者診療数が増加していることは評価できる。
- ・コロナ禍のなかでも、高度がん医療を求める外国人患者の一定の受け入れが進んでいる点は評価できるものの、これまでの評価のなかで指摘されている改善が遂行されている状況にはない。
- ・医療通訳の養成が進んでいるが、活用するには外国人患者数増加が不可欠である。外国人患者数増への取組が求められる。
- ・「国際交流」を目玉とする特区計画であるため、コロナウイルス感染拡大の影響が事業全体に与えるインパクトは甚大である。コロナ収束後、万博開催などを見据え、ホテル誘致、医療通訳、特区ガイド養成など、将来に向けた着実な投資、地固めを進めていただきたい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.0

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(3.3+2.6+3 \times 2) \div 4=3$

3.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。